



## 1 かな？ 2 かな？

教科：算数

対象：小学校5・6年

ねらい：整数の和や差が偶数や奇数になる理由を考える。

準備物：足し算用計算カード，記録カード

### 展開

活動の流れ	指導上の留意点																
<p>❶ カードの中から5枚を選び、横1列にならべておく。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>❷ 選んだカードの間に、十かーの記号を入れたり、カードをならべかえて、答えが1になるようにする。                  [例]</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">↓</p> $5 + 8 - 4 - 6 - 2 = 1$ <p>❸ 答えが1にならない場合には、答えが2になるように式をつくる。</p> <p>❹ 答えがほかの数になる場合を考えさせる。                  [例]</p> $8 + 2 + 4 - 6 - 5 = 3$ $8 + 2 + 5 - 6 - 4 = 5$ <p>❺ 答えが1になるカードの組の答えは奇数、答えが2になるカードの組の答えは偶数ばかりになる理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ5枚のカードの数の奇数が1つしかないので合計数は偶数にはならない。</li> <li>上記の場合、5枚のカードの数の和が奇数(例25)なので、これを2つに分けたときの差は奇数にしかない。</li> </ul>	<p>① カードは自由に選ぶ。</p> <p>② 計算に際しては、次のようなことに注意させる。                  ・カードの順番はかえてもいい。                  ・( ) を使って式をつくってもいい。</p> <p>十、一の書かれたカードを用意しておくといよい。また、完成した式は、記録用紙(8ページ)に記録するとよい。</p> <p>③ 1ができる場合には、2ができない。                  1ができない場合には、2ができるということに気づかせる。</p> <p>④ この例の場合には答えが奇数にばかりなっていく。なぜそうなるのかを考える。</p> <p>⑤ 具体的に答えのつくり方を説明する。</p> <div style="text-align: center;"> <math display="block">25</math>  </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">13-12=1</td> <td style="padding: 2px;">...</td> <td style="padding: 2px;">13=5+6+2</td> <td style="padding: 2px;">12=4+8</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">14-11=3</td> <td style="padding: 2px;">...</td> <td style="padding: 2px;">14=4+8+2</td> <td style="padding: 2px;">11=5+6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">15-10=5</td> <td style="padding: 2px;">...</td> <td style="padding: 2px;">15=5+8+2</td> <td style="padding: 2px;">10=4+6</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 2px;">.....</td> </tr> </table>	13-12=1	...	13=5+6+2	12=4+8	14-11=3	...	14=4+8+2	11=5+6	15-10=5	...	15=5+8+2	10=4+6	.....			
13-12=1	...	13=5+6+2	12=4+8														
14-11=3	...	14=4+8+2	11=5+6														
15-10=5	...	15=5+8+2	10=4+6														
.....																	



### 「1かな? 2かな?」記録カード

[例]

$$\boxed{5} + \boxed{8} - \boxed{4} - \boxed{6} - \boxed{2} = 1$$

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = 1$$

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = 2$$

---

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = \bigcirc$$

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = \bigcirc$$

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = \bigcirc$$

$$\boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} - \boxed{\phantom{0}} = \bigcirc$$